

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年12月10日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2772402125
法人名	社会福祉法人 美郷会
事業所名	グループホーム美郷
所在地	枚方市西招提町1253番地 (電話) 072-866-7027

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 21年 11月 28日

【情報提供票より】(平成 21年 10月 20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 12月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤 6人, 非常勤 2人, 常勤換算	8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4階建ての	1階 ~	1階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	57,750円	その他の経費(月額)	25,000円
敷金	有(円) ⑧		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) ⑧	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	2,000円	

(4) 利用者の概要 (平成 21年 10月 20日現在)

利用者人数	9名	男性 1名	女性 8名
要介護1	1名	要介護2	3名
要介護3	3名	要介護4	0名
要介護5	2名	要支援2	0名
年齢	平均 90.1歳	最低 85歳	最高 96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤病院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、創業30年を迎える医療法人を母体として設立された、社会福祉法人が運営するグループホームです。医療・福祉の2つの法人は地域の多様なニーズに応え「医療・保健・福祉のトータルサービスの提供」という大きな役割を果たしています。当ホームはすぐそばに病院があり、特別養護老人ホーム・デイサービスセンターと同じ建物内にあります。医療福祉の連携でリハビリや専門外来なども利用しやすく、安心して生活することができます。ホーム玄関から門までは庭園が広がり菜園スペースも確保され、野菜や果物を植えたり収穫したりする楽しみが味わえます。また、隣のデイサービスセンター利用者との交流も盛んです。地域自治会、学校、保育園との交流があり、地域に開かれた環境づくりを推進しています。災害時避難訓練では職員が救助する人、救助される人という役割を決め、本番さながらの訓練を行い、利用者の安全を図るための提言を行うなど熱心に取り組んでいます。利用者の笑顔から安定した生活状況が伺えます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回評価での主な改善課題はありませんが、サービス向上を図るため職員の育成等に力を入れています。外部評価内容についてはホーム内に掲示し、家族や外来者がいつでも閲覧できるようにしています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者は外部評価の受審についての日程や意義について、会議等で職員に説明しています。職員は評価の意義を理解した上で自己評価票の作成に取り組んでいます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、出された意見や提言等はその都度、ホーム運営に反映しています。主な討議内容は、ホームからの近況報告や行事等のお知らせ、地域のお祭り予定の紹介、家族会の開催、外部評価受審予定、認知症サポーター講座予定、小学校児童下校時の見守りについての協力要請、家族委員の変更、職員の異動紹介、インフルエンザ対策、保育園児との交流会開催等です。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の来訪時には職員から声かけを行い、健康面や暮らしぶりを報告しています。緊急時には電話でその都度報告し相談しています。ホーム発行ふれあい紙「陽だまり」に利用者写真や生活状況を掲載し、新入職員の紹介、行事や家族会のお知らせなどもしています。利用者の金銭管理については個別金銭出納帳を作成し、家族了承サインまたは押印をもらっています。家族アンケートを実施し、家族会開催時には要望や意見を聴取する、意見箱を置き意見を出しやすくするなどしてサービス向上に努めています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会のふれあい祭り、盆踊り、体育祭などの行事に参加しています。保育園の運動会を見学したり、保育園児の訪問を受けたり、園児からの絵手紙をもらったりしています。地域からは小学校児童の「下校時見守り立ち番」の要請を受けたり、ホームからは法人主催の夏祭りを案内したりしています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念には「①一人ひとりの個性や生き方を尊重します。②一緒に暮らし支えあいます。③地域との繋がりを大切にします。」と掲げ、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支える姿勢を明確にしています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は分かりやすく記載し、ホーム玄関等に掲示しています。職員会議やカンファレンス等で理念を共有し、方針として具体化するために年度目標を決めて実践しています。本年度目標は「安心した生活を送る為のチームワーク作り」です。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	自治会のふれあい祭り、盆踊り、体育祭などの行事に参加しています。保育園の運動会を見学したり、保育園児の訪問を受けたり、園児からの絵手紙をもらったりしています。地域からは小学校児童の下校時見守り立ち番の要請を受けたり、ホームからは法人主催の夏祭りを案内したりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は外部評価の受審についての日程や意義について、会議等で職員に説明しています。職員は、評価の意義を理解した上で自己評価票の作成に取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規程を定めています。運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、年6回の開催を定例化しています。会議には家族も参加されています。会議で出された意見については業務に反映しています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は、年度始めに市の担当課へ挨拶に向かっています。市からはホームの空き状況の問い合わせを受けたり、研修等の情報を得たり、わからないことを相談する等、サービスの質の向上に努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が来られたら健康面や暮らしぶりを報告しています。また、緊急時には電話でその都度報告や相談をしています。ホーム発行のふれあい紙「陽だまり」に利用者写真や生活状況を掲載し、新入職員の紹介を行い、行事や家族会のお知らせをするなどしています。利用者の金銭管理については個別金銭出納帳を作成し、家族確認時には了承サインもしくは押印をもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時は職員から声かけをして、できるだけ意見や要望を出してもらうようにしています。家族アンケートを実施し意見を反映する、家族会開催時には要望や意見を聴取する、日常的にも利用者の希望や願いを聞く、玄関に意見箱を設置するなどして、サービス向上に努めています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内職員の異動は若干名で最小限にしています。退職等による職員の交代については法人内の経験豊富な職員を配置するなどして、利用者に影響がないように配慮しています。職員の異動についてはその都度家族や利用者に報告し紹介をしています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、内部研修を合わせて年6回以上の受講記録があり、内容には認知症接遇・感染症対策・緊急時対応等が含まれています。法人内研修は月1回行なわれ、グループホーム内部研修は2ヶ月に1回行っています。研修報告書を作成し職員間で共有していますが、一部に共有サインの少ないものがあり、今後は周知の徹底が期待されます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員は、地域包括支援センター主催のグループホーム連絡会議や研修会等に参加して情報交換を行い、互いにホームの見学交流を行うなど、サービスの質の向上に努めています。また、枚方市全域のグループホーム連絡会議の開催を市に要請し、近く実施される予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が今までどのような生活や経験をされてきたか、入居申し込みをされる時から本人の話を聞く機会を設けています。本人と面談し事前にホーム見学をしていただき、本人の思いを理解することで安心して入居してもらうようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者の経験談に学んだり、編物や調理、家事、慣習等を教えてもらったりしています。共に行事を楽しんだり、誕生日を祝ったり、慰められたり、喜怒哀楽を共にしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話の中で利用者の希望を聞いたり、意向を確認したりしています。また希望を出しにくい利用者には表情やしぐさを見て対応し、家族から情報を得るなどして意向を確認しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者一人ひとりの支援担当を決め、意向や生活状況を細やかに把握し、支援に活かしています。職員会議やカンファレンスでアイデアを出し合い、家族の意見や希望を反映した計画作成をしています。また、カンファレンスには主治医や管理栄養士等の参加を得ることもあります。介護計画書は職員間で共有し、項目ごとに実施状況をチェックし確認しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月毎に介護計画書の見直しを行っています。見直し時期以外にも随時見直しを行い、状態の変化に応じた細やかな対応をしています。アセスメント表、モニタリング記録、カンファレンス記録が揃っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人関連病院との医療連携で、精神科の専門相談や助言が受けられます。また、同法人運営の特養やデイサービスセンターが同じ建物内にあり、利用者の状態や希望により行事への参加や交流が行われています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者がかかりつけ医療機関（医師）で引き続き医療が受けられるように、一人ひとりの希望を尊重した支援をしています。協力医療機関からは2週間ごとに主治医の往診があります。それ以外に老年内科や精神科専門医、歯科や眼科等の受診支援をしています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応については、早い段階から本人や家族等の意向を聞き、文書を交わしています。ホームで看取りをした経験はありませんが、希望に添った支援を進めるためにマニュアルを作成し、家族会等で説明するなどの取り組みを行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを大切にされた対応や言葉かけをしています。個人情報についての取り扱いは、職員雇用時に個人情報保護を義務付ける内容を提示し「誓約書」を交わしています。ホーム内での記録等の保管は慎重にしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の都合や希望を尊重し、自由に過ごせるようにしています。利用者はリハビリに出かけたり、同じ建物内にあるデイサービス利用者と交流したり、買物や散歩に出かけたり、自室や居間で過ごすなど自分のペースで生活されています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週1回はホームで夕食作りをしながら楽しんでいますが、その他の日は同法人給食施設で調理し配食されたものをホームで盛り付けています。職員は利用者と同じものを食べながら、話題を提供し同時に食事介助もしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望者は毎日でも入浴ができますが、希望される利用者はごく少ない状況です。利用者には週2回の入浴が定着しています。入浴を好まれない利用者には様子を見て入浴を勧め、清潔が保たれるようにしています。	○	希望を出されない利用者にも、週3回程度の入浴ができるような工夫が求められます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	食事作り、買物、散歩、外食、菜園での収穫などを楽しみ、囲碁、茶道、花道などの趣味を生かせる支援をしています。利用者は食器洗いや洗濯物たたみなど、自分の役割を持って過ごされています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物、外食に出かける、隣のデイサービスセンターへ出かけるなど、ホームを出て楽しめるように支援しています。最近は新型インフルエンザ予防のために外出の頻度が少なくなっています。今後は、マスクを着用するなど、予防に留意して外出の機会を確保することが期待されます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には鍵をかけていませんが、出入りの際はチャイムが鳴るようにしています。また、玄関から50メートル程先には門扉があり、鍵がかかっています。しかし、同法人のデイサービスセンターや特養へ通じる入口を普段から使用しており、鍵をかけていないため、自由に行き来することができます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署と連携し、年に2回災害時避難訓練を行っています。訓練では職員を救助スタッフと救助される利用者に見立てて真剣に取り組んでいます。職員はその訓練について一人ひとりが感想文を書き、改善点を提言するなど積極的に参画しています。ホーム内には非常用飲料水と非常食の備蓄をしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が作成した献立で、バランスの取れた食事を用意しています。食事摂取量は3食とも確認、水分摂取量は一日を通じて記載しています。水分摂取が少ない利用者には飲み物を勧めるなどの配慮をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム玄関から門までは季節感のある庭園が広がり、一部に菜園スペースが確保されています。居間にはソファや椅子を置き、テラスはお茶を飲み、くつろげる場として活用するなど心地よく過ごせる工夫をしています。浴室やトイレは表示を分かりやすくし、居室は夜間でも見えやすい蛍光名札を作成し、自室が分かるようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員は利用者に馴染みの品を持参されるように勧め、利用者は仏壇や家族の写真など大切なものと、机やイス、タンス、テレビ、時計、ぬいぐるみなどの馴染みの物を持ち込まれ、落ち着いて過ごされています。居室は清潔に整えられ、窓を開け換気を行うなど過ごしやすい環境づくりをしています。		